

2021年7月14日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 アンセム ウォン
ANSELM WONG
(コード：9318 東証第2部)
問合せ先 IR推進執行役員 山内 沙織
(TEL. 03-5534-9614)

(訂正)「過年度の決算短信の訂正に関するお知らせ」の一部訂正について

2021年6月30日付適時開示資料「過年度の決算短信の訂正に関するお知らせ」に一部訂正すべき内容がございましたので、下記の通り訂正いたします。

訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

【訂正前】

1. 訂正の経緯及び理由

当社は、連結子会社2社である株式会社トレードセブン、及びその子会社・株式会社TS Projectが実行した蓄電池事業の取引実態に疑義があることが判明したため、弁護士及び会計士等で構成する特別調査委員会の調査結論を経て、不適切な会計処理が行われていた事実を確認いたしました。

これに伴い、当社は、2017年11月から2019年4月（2017年12月期から2019年6月期）にかけて行われた計18回の取引について、当該売上・仕入及び売掛金の計上を取り消し、回収時に差益を特別利益として認識することといたしました。

また、この取引に関わる不透明な資金支出に関しまして、2018年12期の発生時期に一括して特別損失として処理を行い、一連の会計処理を訂正することといたしました。この処理に伴い、株式会社トレードセブンの純資産に影響が発生したため、当社保有の同社株式の減損処理等も同時に実施いたしました。

<後略>

【訂正後】

1. 訂正の経緯及び理由

当社は、連結子会社2社である株式会社トレードセブン、及びその子会社・株式会社TS Projectが実行した蓄電池事業の取引実態に疑義があることが判明したため、弁護士及び会計士等で構成する特別調査委員会の調査結論を経て、不適切な会計処理が行われていた事実を確認いたしました。

これに伴い、当社は、2017年11月から2019年4月（2017年12月期から2019年6月期）にかけて行われた計18回の取引について、当該売上・仕入及び売掛金の計上を取り消し、回収時に差益を特別利益として認識することといたしました。

また、この取引に関わる不透明な資金支出に関しまして、2018年3月期に一括して特別損失として処理を行い、一連の会計処理を訂正することといたしました。この処理に伴い、株式会社トレードセブンの純資産に影響が発生したため、当社保有の同社株式の減損処理等も同時に実施いたしました。

<後略>

以 上